

第6号に引き続き、これまでに実施した説明会や個別相談の様子を紹介します。より実効性が高まるAPを作成するための参考にしてください。

Q1 学校経営アクションプラン (AP) 全体に関すること



焦点化して記入することはよいのですが、記入していない取組への意識が薄れるのではないのでしょうか？

学校経営計画書の「本年度の重点」等の中で最優先で取り組むことをAPには記入します。

あくまでも、学校経営全体の設計図は学校経営計画書です。



達成指標に学力調査の平均点などを挙げると、職員は点数を上げることにとらわれ、目指す子どもの姿を見失いやすと考えます。数値指標を必ず示す必要がありますか？

達成指標は、目指す子どもの姿に近づいているかを確認するためのものです。正答率、平均点だけでなく、目指す子どもの姿を分析的に捉えたアンケート結果など、できる限り数値化した指標を設定することが重要です。

また、重点取組は、重点目標に到達するための手立てであることを教職員と共通理解することが大切です。



Q2 重点目標に関すること



第二項目に「知」「徳」「体」以外の項目を掲げることもできますか？

できます。これまでも「夢育」「生徒会活動」「郷土愛」「心」等の実例があります。

また、学校や地域の特色を踏まえて、「人権教育」等も考えられます。



本年度の重点目標に、資質・能力に係る言葉が入らないといけませんか？

育成したい資質・能力を踏まえて記述するとよいです。学習指導要領に示された資質・能力の三つの柱(知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等)の**どこにつながっているのか説明できること**が大切です。

2 教科横断的な視点に立った資質・能力

児童に「生きる力」を育むことを目指して教育活動の充実を図るに当たっては、学校教育全体及び各教科等の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを、資質・能力の三つの柱を踏まえながら明確にすることが求められる。

「小学校学習指導要領解説 総則編」(p47)から抜粋 ※赤字下線抜粋者

「学校経営AP」と「学校経営計画書」との関係

学校経営計画書

学校づくりのビジョンと戦略の下、学習指導や生徒指導に関する内容、地域連携や人材育成の観点など、全てを網羅した総合的な教育計画

学校経営AP

学校経営計画書において、特に当該年度において達成したい「**知**」に関する項目と**校長として重点的に取り組みたい項目**の2つを示したもの

学校経営アクションプラン説明スライドから抜粋

4 カリキュラム・マネジメントの充実 (略)

ア 児童や学校、地域の実態を適切に把握すること

教育課程は、第1章総則第1の1が示すとおり「児童の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して」編成されることが必要である。各学校においては、**各種調査結果やデータ等に基づき、児童の姿や学校及び地域の現状を定期的に把握**したり、保護者や地域住民の意向等を的確に把握した上で、学校の教育目標など教育課程の編成の基本となる事項を定めていくことが求められる。

「小学校学習指導要領解説 総則編」(p40)から抜粋 ※赤字下線抜粋者



Q3 現況値と中間期の値に関すること

新たに設定する達成指標で現況値がない場合は、どうしたらよいでしょうか？

作成時には、空欄で構いませんが、可能であれば、新年度になってから調査を実施するなどして、現況値を算出・追記したアクションプランを学校訪問時に示してください。



全国学力・学習状況調査の結果を指標としたとき、中間期の値を記入することができませんが、指標を変えた方がよいですか？

全国学力・学習状況調査は年1回しか行われないため、そのみを指標とすることは難しいと考えます。「单元テスト」や「定着状況確認テスト」等で検証していくことが考えられます。



達成指標として、1月の市町村の学力調査結果を設定したいのですが、中間期の値はどうすればよいですか？

それに準じるものとして1学期末等に行う「まとめテスト」や「学力診断テスト」等を検証材料にすることが考えられます。



小規模校では、学力調査やアンケート結果を達成指標にすると、一人二人の動向で数値が大きく変動してしまいます。どのような指標が適切でしょうか？

例えば、「児童の変容に係る教師の見立てを指標にする」、「語い数の伸びを見取る」などの方法が考えられます。また、一人一人の児童の伸びを追跡する方法も考えられます。

具体的には、「〇〇ポイント以上、上昇する児童を◇◇人中●●人にする。」などのように、小規模校の利点を生かして記入するとよいです。



学校経営APの効果的作成に向けて②

令和4年度中に指標(案)を設定

必須

【達成指標】(案)を設定

現状の課題を踏まえ、「どのような姿になれば重点目標の達成と言えるのか」検証可能な指標となるよう**できる限り数値化**できる子どもの姿を設定する。その際、**現況値と目標値**を記入する。

年度内に複数回、確認・検証できる指標にすることが重要

【記入例】

【本年度の重点目標】
「主体的に友達と協働しながら学ぶ力の育成」

達成指標（達成した姿、目標値と現況値）

達成指標（達成した姿、目標値と現況値）		
（児童アンケート） 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしている。」の肯定的回答割合を増やす。		
目標値	(R5:12月)	80%
現況値	(R4:12月)	68%

校内全体で、「主体的に友達と協働しながら学ぶ子どもの姿」を具体的に明らかにした上で、達成度合いが把握できる指標を、**定性的・定量的の両面から及び重点取組を想起して設定**

達成度を測るためには、令和4年度に同項目の調査を実施していることが望ましいが、未実施の場合は、年度当初に調査を実施するなどして、推移が確認できる目標数値であることが必須

（△人/〇人）等、学校規模に応じて、数値の表記を変えることも可能

学校経営アクションプラン説明スライドから抜粋

Q4 達成指標に関すること

「徳」については、達成指標としてQ-Uやi-check等も考えられますが、検査時点の状況による変動が大きい現状があります。視点とする生徒を設定して、観察する方法でもよいですか？

意識調査も心理検査等も決して万能ではありません。それを補う手法として、個に視点を当てた丁寧な見取りを通して重点目標に係る達成状況を検証することも考えられます。



多くの児童が通学バスを利用しており、体力低下が課題です。「体」を目標にする場合、指標はどのように設定するとよいですか？

例えば、体力テストの各種目の値を指標としたり、健康的で豊かなスポーツライフに向けて、運動遊びの習慣に関する指標を設定したりすることが考えられます。

大切にしたいことは、「やらされる」体力づくりにならないように、児童が意欲的に体力づくりを行う工夫をすることです。また、「（体力向上）がんばり週間」等の値だけで見取らず、日常の数値を把握する視点も大切です。

